

# アルコール消毒液の使用上の注意事項

春日井市立松原中学校

## 1. アルコール消毒の効果

アルコール消毒の原料は、エタノールと呼ばれるアルコールの仲間。エタノールは、砂糖の原料となるサトウキビやテンサイなどの糖質、トウモロコシ、ジャガイモなどのでんぷん質をベースに発酵させてできる。食品が原料となっているため、食器や食物にかかっても健康に影響が少なく、消毒としては安全性が高い。

## 2. アルコール消毒の正しい使用方法

アルコール消毒をする前に、爪の隙間に入り込んだ泥や土などは、爪用のブラシ、古した歯ブラシなどを利用してていねいに汚れを取り除こう。

手を洗った後、そのままアルコール消毒をしてしまうのはNG行為。手に水がついたままの状態でするアルコール消毒すると、濃度が薄まってしまいアルコール消毒本来の力が発揮できないことになる。しっかりと水分をふき取ったあとアルコール消毒をするように心がけよう。アルコール消毒を使うときは、3mlで99.9%と、ほぼ完ぺきな除菌効果が期待できる。

## 3. アルコール消毒の注意点

### (1) 引火に注意

消毒用アルコールのような濃度が高いものは、20℃以上になると燃える。空気中に3%以上19%未満含まれると、火気の近くでは引火・爆発することがある。使用する時は、風通しに気をつけ、火気の近くには、絶対に置かない。特にスプレー式のアルコールスプレーは、霧状に広がるので引火しやすいので要注意。

### (2) 手荒れに注意

高濃度のアルコールが手に付着すると「脱脂」反応を起こすため手がカサカサして乾燥状態となる。敏感肌の場合には、ハンドクリームなどを塗って肌を乾燥から守ることが必要になる。また、1日に何度もアルコール消毒をすることも肌荒れにつながる。また、アルコールは皮膚や目を痛めることがある。直接目に入ると刺激がある。すぐ水でよく洗うこと。ひどい場合には医者の手当を受ける。

### (3) 素材に注意

ワックスを塗ったフローリング、ニス塗りの家具、革製品などへの使用も避けた方がいい。素材を傷めてしまう可能性がある。

※ アルコールがなくなったら、担任の先生に申し出て補充してもらってください。